



確かな学力の向上をめざして【2月】

■校内研究の充実に向けて ～ 全国学力・学習状況調査を活用する ～

校内研究を充実させるためには、計画的な取組が大切です。4月に実施される全国学力・学習状況調査やNRT等を「どのように」活用していくのか、PDCAサイクルを「どのように」回していくのか等、具体的な計画を立て、見通しをもって取り組むことが成果につながります。

今年度の校内研究の取組をふり返るとともに、来年度の計画に全国学力・学習状況調査の活用を位置付け、校内研究の充実につなげましょう。



自分の取組をチェックしてみましょう！

■校内研究、授業改善について

- 「めざす子ども像」を意識している。
- 校内研究に意欲的に取り組んでいる。
- 授業改善に課題意識をもって取り組んでいる。
- 授業研究会の成果を日々の授業に生かしている。

■全国学テの活用について

- 問題を解き、子どもに求められている力について考えた。
- 誤答分析を行い、子どもの実態把握を行った。
- 誤答分析の結果を基に、授業改善に取り組んだ。
- 校内で分析された結果を基に、授業改善に取り組んだ。



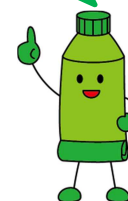
子どもの姿が
変わったぞ！



来年度に向けての主な流れを確認しましょう！

- 研究の評価を行い、成果と課題を整理し、研究をまとめる。
- 研究のまとめ（紀要等）をもとに今年度の研究をふり返る。
- 子どもの実態をつかみなおす。（全国学テの結果を活用する）
- 今年度の課題と、子どもの実態から次年度のテーマを決める。
- 次年度の研究推進計画を立て、研究推進委員会等で練る。
- 職員会で提案し、全職員で検討する。（新年度の職員会での提案へ）

全職員が見通しを
もって取り組むことが
大切です！



全国学テを校内研究に位置付けましょう！

- ・早い時期に全職員で問題を解く機会をつくり、求められている力を確認しましょう。
- ・自校採点を行ったり、抽出調査の結果を活用したりして、自校の大まかな傾向をつかみ、授業改善に役立てましょう。

- 自分の授業をふり返り、改善していく真摯な姿勢が授業力を向上させます。
より良い授業を目指し、**自ら学び続ける**ことが教師の義務です。

